

# 道

2024年2月1日  
(第107号)



小田川

教員の冷ややかな視線が心に刺さった。三七歳で出版会社に入り、高校や専門学校などをまわって教科書などの営業に携わる。数字がものをいう世界。本は学年単位や学級単位で採択される。職員室で名刺を配り教科書などの見本に目を通してもらおうと汗を流した。▼話術が巧みな人がよい成績をおさめる。しかし、僕にその才能はない。自分にできることはなにか思い迷う。こつこつと丁寧な仕事をするこつこつ。先生の顔を思い浮かべながら、新聞や本の抜粋で「○○出版ミニ資料」を作ったりもした(本の無断抜粋で叱られたことがあったなあ)。営業成績には波があったが、高くも低くもないというところだったろうか。営業現場で、話術もだけど、相手からの信頼を培うことが大事だとわかってくる。一つひとつ地道に積み上げていくしかなかった。▼阪神淡路大震災や地下鉄サリン事件があった年、東京本社 of 企画調査室で勤務した(この一年は営業職から離れた)。手掛けたなかに「介護福祉ハンドブック」シリーズがある。僕のその後の職業人生の起点のひとつがここにあったかもしれない。▼大阪、東京、埼玉などと働く場が変わった。この仕事を長く続けるのはしんどいという思いがこみ上げる。個人的にも多くのことがあり、職を辞すことになる。僕は四六歳になっていた。▼そして、このあと、北海道に渡る。

〒710-1301

岡山県倉敷市真備町箭田 5188

電話 : 090-5366-1497

メール : michi-care@outlook.jp

ホームページ : <https://michi-care.jimdo.com/>

〈道〉LINE : <https://lin.ee/zCG7Iyp>



林道也



棕の木(真備町箭田・遠田地区)